

市民との意見交換会会議録

報告日及び報告者 H29.12.22 齋藤雅彦

1. 日時 平成 29 年 11 月 28 日（火）午後 6 時 30 分～午後 8 時 5 分
2. 場所 北町コミュニティセンター
3. 出席議員 齋藤雅彦、三瓶裕司、作田 博、渡辺忠夫、国分勝広（5 名）
4. 出席市民 13 名
5. 会議経過

【午後 6 時 30 分開会】

- ◇ 齋藤議員 開会宣言
- ◇ 作田議員 挨拶

意見交換会は今回で 4 回目になる。27 年 8 月に基本条例を制定し、それに基づいて実施される。忌憚のない良い意見を頂いて市制に反映していきたい。

（出席議員自己紹介）

【報告】

- ◇ 三瓶議員
議会だよりを 5 冊（第 46・47・48・49・50 号）配布、これに沿って報告する。
 - ①定例会・臨時会の審議の概要
 - ②政務活動費、H28 年度結果及び H29 年度状況報告
 - ③前回の意見交換会要望に対する処理状況報告

《報告に対する質疑 要旨》

問（市民）

議員報酬はどの位上げて、年間いくらもらうのか。さらに出張手当ももらえるだろう。

答 三瓶議員

議員の報酬は 30 万円が変わりはない。県の人事委員会勧告で期末手当が改訂されたが、詳しい金額は覚えていない。研修は旅費と交通費だけである。

問（市民）

決議のなかで、共産党の渡辺忠夫議員が、すべて反対している。議員はこのことをどう思っているのか。議会だよりをみていると、なにかしら反対している。

答 三瓶議員

反対はあるが、議員それぞれの考えがある。共産党としてみなさんに伝えることがあると思う。上程された議案はそれぞれ賛成、反対、修正、という立場で、一般議員はやっている。渡辺議員の賛成もある。

答 渡辺議員

賛成もある。年間70、80ある議案を全部反対しているわけではない。議会だよりは反対のあった議案のみを、賛否一覧で出している。

7、8割は賛成しているのではないかと思う。請願、陳情のように市民から出されたものについては、基本的に賛成している。駄目だと言う議員もいるが、そういった立場で反対をしている。

答 作田議員

議決審議一覧を見てもらうとわかる。請願、陳情はそれぞれの考え方でこれが正しい、間違いということではないのでご理解頂きたい。

以前高校の授業料無料化の請願があって賛成したが、どこの議会でも難しい話で、県内の議会との兼ね合いで決めた経過もあった。

答 渡辺議員

議会の運び方もあるが、請願の場合は、採択した委員長報告について採決を取るが、陳情の場合は原案をもとにして採決を取る場合がある。

委員長報告には反対しているが、原案には賛成している場合もある。

問 (市民)

全議員が賛成の場合は、議決結果に「全議員賛成」と書けばもっと分かりやすい。議事録、予算書、決算書がすぐに見られるように、公民館に市民コーナーを作って置いて欲しい。市役所で閲覧できるが、5時以降は見られない。議員が何をやっているか分かるようにしてほしい。

報酬を上げるのであれば、一般質問の内容も抜粋ではなく、すべて出して欲しい。市政の「見える化」をやって欲しい。

答 三瓶議員

議決結果の広報の書き方は検討する。議事録等は議会のウェブサイトには全部載っている。

問 (市民)

ウェブサイトで閲覧して印刷すると1枚10円取られる。モットコムもファイルでは売ってくれない。一般質問では良いことを言っているのに、質問や回答についても、議員ももっと努力をして「見える化」して欲しい。

答 三瓶議員

モットコムの再放送は夜の10時からやっている。

問（市民）

モットコム（Motto Com）の放送も CD で販売して欲しい。

答 作田議員

公開条例に基づいて今までやってきたが、もっとオープンにしたらどうかという話だと思う。持ち帰って検討させて頂く。

答 斎藤議員

市内でインターネットが無料で使えるところが、えぼかや白沢公民館にある。今、全国的に議事録の紙での開示はペーパーレスでやめている。

ウェブサイトでの開示が主流になっている。インターネットを使ってない方には、施設の利用時間帯であれば、無料で使えるようになっている。

問（市民）

プリンターは使えるのか。見るだけではなくて、後からもみたい。一過性では駄目。

答 国分議員

図書館に議会のコーナーを設けるという事かと思う。郡山市は入札結果からなんでもある。確かにそういう方式も必要かもしれない。

【意見交換】

《意見交換 要旨》

（1） 10年後の本宮市の将来像について

問（市民）

10年後の本宮市について、市民のための市の構想を聞きにきた。それについてどう思うかを話すのかと思っていた。

問（市民）

10年後の本宮市について、市や議員の考えはあるのか。

漠然と10年後の本宮はどうかと言われても言葉にならない。まして、首長も変われば議員も変わるなかで。

答 作田議員

基本的には本宮市で総合計画を作っていく。その中でおよその青写真が出来る。それに対して住民から意見交換会で意見を頂きたい。

意見を集約しながら、次世代に向けての計画を作っていく。

それと併せて財政健全化計画もやっていく。もう一つ、公共施設の総合管理計画もある。

橋梁や建築物が築40年以上が経過し、手当しなければならない。リフォームか新築かの問題になってくる。

さらには、人口減少や高齢者の問題も来ている。そんな中で10年後、20

年後はどのような形でやっていくのかという長いスパンで考えて行かないと難しい。

本来ならば最上位計画の総合計画の案が出た状態であれば、皆さんと縮小、統合、廃止という話も出てくると思う。

心配なのは、今年度から始まる予定の今後40年間に手当をしなければならぬ総合管理計画を国から求められて提出したが、それによると、経費が1年間に38億円かかり、1年平均で19億円不足するというデータが出ている。これらを入れて総合計画を作らなければならない。今年、来年が方向付けをする正念場になる。

答 齋藤議員

10年後は物を建てる時代ではなく、人口も減少する中、縮小という考えで行かなければならないと市も考えていると思う。

答 国分議員

本宮市の人口は24年から29年で550人減、1年に110人減っている。白沢が750人減、本宮が240人増、他所はもっと減っている。公共施設の維持管理で5兆5千億円足りなくなる2035年問題を、今から考えて欲しい。2040年はもっと少子・高齢化が進むため、行政を戦略的に縮小するか、増税しかない。だから地道に節約しないとまずい。最終的には未来の子どもに借金を残すようになる。

そんな中、みなさんに良い方法を考えて頂きたい。

問 (市民)

10年後のビジョンを我々に捻出して欲しいという要望ならば、議会で今これだけの問題点が出されているというものを示して、それに我々が目を通して具備すると、建設的な意見交換になると思う。仮に将来と言う形でみた場合だと、北朝鮮の問題で核シェルターを作るとかは緊急に考えなくてはいけない。財源不足の問題は競輪場、競艇所やカジノを作って財源を確保する。2025問題については人口が増えないことには、良い案が浮かばない。

(2) その他

問 (市民)

館町の側溝の除染はいつごろまでかかるのか。

館町の側溝除染は一切やっていない。

本宮小学校グラウンド裏の館町へ行く避難道路の工事を半分だけやって頂いたが、その後、続行になると思っているがどうなっているのか。

答 三瓶議員

道路に面した側溝の除染は終了している。それ以外の用水路はまだやって

いない。明日再度確認して連絡する。

避難道路の件は、側溝にふたを掛けて舗装も直している。あれ以上拡張するには、土手側に擁壁を立てなければならないので、今の段階では不可能だと聞いている。

今後の部分については、本宮小学校から関根に行く道路の拡張工事がこれから始まるので、それに伴って設計をかけるという返事はもらっているが、今以上拡張するには団地側に擁壁を立てなくてはならない為、今のところ不可能である。

問（市民）

今までの幅であれば擁壁はいらないのでは。

通行しないよう、原則は通行止めにして欲しい。非常時に団地から車を上げよう側溝に蓋をしてもらえば、車が1台通れるようになる。

答 三瓶議員

上の部分については、上の道路の拡張工事と一緒にやると聞いている。

問（市民）

上の道路が出来ないと側溝に蓋も出来ないということか。

答 作田議員

館ノ越・関根線は、側溝やライフラインの関係で難問がある。今設計に入っていておおよその図面が出来てきたら、どのような形になるか摺り合わせをさせて頂きたい。町内会にもお骨折り頂いて、併合してやっていきたい。グラウンドが少し狭くなるが法面で対応する考えである。

問（市民）

上の道路と一緒に避難路もできるということか。

答 作田議員、斎藤議員

そこまでは聞いていない。

答 三瓶議員

上の部分については、上の道路の拡張工事と一緒にやると聞いている。

問（市民）

上の道路と一緒にやれないというのであれば、再度、要望書を出さなければいけないのか検討して欲しい。

答 三瓶議員

もし要望書が必要であれば、ご協力いただくようになる。

答 国分議員

線路わきの道路に回したほうが良いのではないか。

問（市民）

水害になると水色公園側には行けない。水がそこに溜まってしまう為、あ

の道路は通れない。火災になっても消防車が入ってきて一方通行になってしまい、どこに逃げるのか。

答 作田議員

防災の面からも、あった方が良くと思うので、委員会でも確認する。

問（市民）

高木公民館を舟場を作って洪水の時にどうやって逃げるのか。

水害被害のない所に集約していくべきだ。財政が厳しくなる中、まゆみアリーナや老人憩の家を簡単に作っているが、議員も何故賛成するのか。本宮高校も水害から逃れるため高台に移転したのに、高木公民館をあそこに作る必要はあるのか議会でも考えて欲しい。

答 作田議員

確かにいろんな形で問題になった。高木地区で移転場所として2か所選んだが、その場所が今の地域と、もう一方が大学の上の方だった。具体的に設計単価まで出した訳ではないが金額は同じで、高木地区の皆さんが同意した上で建設審議委員会を作って決定するべきと提案した。結果、その場所で決定したのに、議員が反対するのはいかなものかと言う問題も出てくる。あくまで地域の合意で決定している。買収金額も出てきているなか、反対ということにはなかなかならない。

ただ、治水対策の問題も併せてやるような方向で進んでいるのが現状である。

答 斎藤議員

排水ポンプも今の1.5倍にする予算も上がっている。

問（市民）

堤防を越えた場合の事も考えているのか。ハザードマップも理解してやって欲しい。高木の住民にこういう事も説明してやって欲しい。

答 斎藤議員

避難所の公民館ができることで、その地域の治水対策も重要になってくる。公民館だけ上に作ればよいという問題ではない。

問（市民）

治水対策は和田でもあるが、ほとんど阿武隈川周辺しかやっていないのが現状だ。審議委員会ではなく、議員の力でやって欲しい。

◇ 渡辺議員 閉会挨拶

◇ 斎藤議員 アンケート協力依頼

【午後8時5分閉会】